



Core Graph Light

コアグラフ Light Vol.3



Core dental

コアデンタルラボ横浜

検索



"e.max" プレスを使用した補綴装置のチェアサイドにおける確認事項

e-max プレスは、高強度（400Mp）と優れた審美性を備えた素材ですが、補綴の際に以下の事項を確認して頂きますと、より良い結果をお届けできると思います。

1) シェードテイク・・・・・・・・歯は口を開けて頂いただけで乾燥し、変色してしまいます！

- ・治療計画の確認（隣接歯や対合歯も）
- ・ホワイトニングの希望は？
- ・マウスウォッシュ後にシェードテイク
- ・ディスカラレーション（支台歯の着色、変色）の有無
- ・天然歯支台か、メタルコアか、ファイバーコアか
- ・ブラックトライアングルの有無

2) 形成・・・・・・・・高強度と言っても必要な厚みの確保を！

- ・咬合紙による支台歯周辺の咬合接触点の確認
- ・パイロットグループによる削去量のガイド
- ・アンダーカットの有無
- ・テックによるクリアランスの確認
- ・シリコンインデックスによるクリアランスの確認
- ・仮バイトによるクリアランスの確認（バイトクリアランスはパラフィンワックス (1,5mm) に圧痕が付いたら不可）
- ・支台歯と隣接面コンタクトおよびマージンとの関係からみた挿入方向の確認
- ・対合歯の状況（どこに噛ませるか）
- ・臼歯部 逆屋根状の確認

3) 咬合採得・・・・・・・・咬合接触点の再確認とクリアランスの確認に！

- ・支台歯周辺の咬合接触点の再確認
- ・バイトクリアランスの確認

4) 印象採得・・・・・・・・口腔内の状況や、診療環境（気温や湿度・人員）に合わせた材料で！

- ・プラークや形成層の除去
- ・適切な圧排
- ・適度な乾燥
- ・印象材は状況に合わせた選択を
- ・完全硬化まで安定した保持を（術者の交替や、トレーを噛んで頂くのは禁忌！）
- ・アルジネート印象材の取り扱いは前号参照
- ・石膏注入はシリコン印象材が完全硬化後に

5) テックの製作・・・・・・・・コンタクトやバイトの安定を図るためには必須！

- ・インレーにもレジンテックを（仮封材では危険）
- ・適切な隣接面コンタクト、バイトコンタクト
- ・正確なマージンフィット（オーバーハングは歯肉炎や歯肉退縮を招きます）

6) セットに向けて・・・・・・・・お預かりした模型で、ご指示に沿って製作しましたが、セットに向けて以下の点をご確認願います！

- ・適合の確認
インレーは“オプトラスティック”(イボクラール社製)などを用いて試して頂くと便利です。
まずは、隣接面コンタクトの確認を！
つぎに、マージンの確認を！
- ・シェードの確認
セメントスペースに水やグリセリン、正確にはカラーペーストを介在させてシェードの確認を
- ・内面の洗浄
次ページをご参照願います
- ・補綴装置内面処理：クリーニング、エッチング、シランカップリング処理
- ・歯面処理：クリーニング、エッチング、プライマー処理
- ・防湿

7) セット

- ・レジンセメントの取扱い厳守

8) 咬合調整・・・・・・・・咬合の確認はセット後に！

e.max の合着、接着の一例

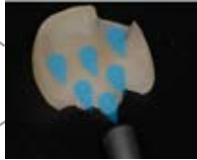


notice! 試適時、補綴装置内面にタンパク質がつきやすい
唾液による補綴装置の汚染を原因とした接着力の低下防止



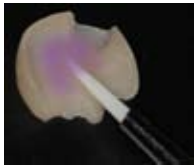
クリーニング 清掃に水洗やアルコールでは不十分な為、補綴物内面クリーニング液の
“イボクリーン”を内面に塗布する（強アルカリ性の為口腔内使用不可）

20秒

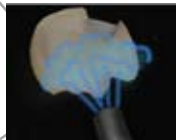


水洗、乾燥

1分間



補綴内面用プライマー “モノボンドプラス”はジルコニアから貴金属まであらゆる
修復物に対応できる1液性プライマー（シラン系/リン酸系/イオウ系）（室温保存）



余剰分をエアブロー



歯面の準備

“マルチリンクプライマーA/B”（セルフエッチングプライマーを
歯質に塗布（15～30秒間放置） 防湿

マルチリンクプライマーA/B
イボクラー社

15～30秒



レジンセメントを塗布 補綴装置の内面に“マルチリンク
オートミクス”を直接塗布

口腔内セット

かるく光照射後、余剰セメントを除去 必要に応じて
マージン部を研磨して完成

マルチリンクオートミクス
イボクラー社

e.max の隣接面コンタクト、咬合調整時のバーの紹介



PAホイール セイコーホイール スターグロス

隣接面のコンタクト調整には“PAホイール”(松風)又は“セイコーホイール”
(晴光社)又はダイヤモンド入りのシリコンホイール“スターグロス”のピンク
(モリタ)を使用し、艶出しには“コンポマスター”(松風)を使用



ダイヤモンドバー
ファイン スーパーファイン



スターグロス 砲弾型



コンポマスター

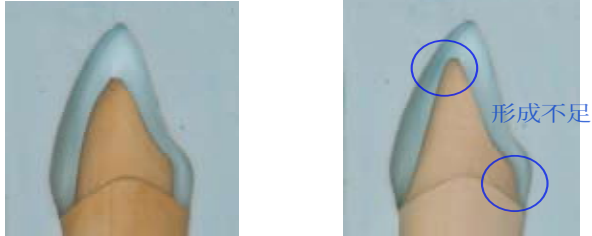
咬合調整にはダイヤモンドバーのファインやスーパーファインを使用し、
次に研磨用にダイヤモンド入りのシリコンポイント“スターグロス”のピンク
砲弾型(モリタ)を使用、艶出しには“コンポマスター”(松風)を使用

第2回 基本ガイド

支台歯形成とクリアランスの確保

臨床において形成不足が発生しやすいところ

前歯



臼歯



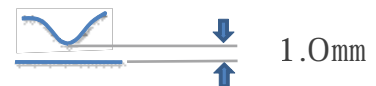
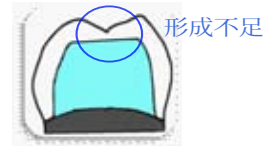
逆屋根型形成



(厚み)² ∝ 強度

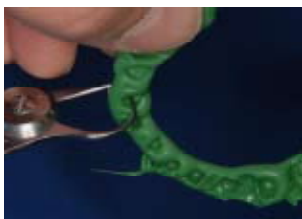


台形型形成



上図のように僅か0.2mm厚く逆屋根形状を与えるだけでも、強度は約2倍になります

チェックバイトを利用したクリアランスの確認



1.0 ~ 1.5 mmを確保



TEK を利用したクリアランスの確認



1.0 ~ 1.5 mmを確保



最後に・・・

今回は、e.max press をより良くご使用頂くための特集第2段を製作いたしましたので参考にして頂ければと思います。

今後とも宜しくお願ひ致します。